

公益社団法人日本技術士会 CPD行事実施報告

開始日時	平成26年7月19日(土)	15時40分
終了日時	平成26年7月19日(土)	16時50分
名称	H26年度年次大会・特別講演会(第15回CPD)	
主催者	公益社団法人日本技術士会 千葉県支部	
開催場所	ホテルプラザ菜の花(千葉市中央区長洲1-8-1)	
行事内容	特別講演会(CPD) 講演テーマ:「ロボットと共生する未来社会」 講師:先川原正浩氏 千葉工業大学未来ロボット技術研究センター室長	
参加人数	67名(内訳 会員56、招待8(講師含む)、企業3)	

第15回CPDは平成26年度年次大会特別講演として、千葉工業大学未来ロボット技術研究センターの先川原正浩氏をお迎えし、次世代型と呼ばれるロボット研究・開発はどのような段階まで進んでいるのか、ロボットが果たすべき社会的な役割・使命などについてお話を伺った。

講演は終始、動画を多用して豊富な資料を使って分かりやすく説明していただいた。複数の車輪が自律協調しながら自在に動く自動車ロボットや、アメリカの2足歩行ロボット、空中搬送ロボット、また千葉大の車椅子ロボット、遭難者を救助するレスキューロボットなど、興味深く拝聴した。現代社会が切に望んでいる介護ロボットの将来について、マイスプーン、ヘッドケアロボットなどの現状を紹介いただいた。



また、東北震災による原発事故に支援したロボットの活躍とエピソードなど映像を交えて説明があった。

「ロボット社会」というのは遠い未来の夢ではなく、意外と身近で実用化されつつあることを改めて実感した。一方、ロボットが日常の人間社会と共生するためには、ロボットの安全性、安全検証などの課題もあり、さらに人に対する倫理の問題も浮上してくる。